

## 地域別の「経営上の問題点と当面の重点経営施策」について

### 姫路地域

#### 経営上の問題点

業種 順位	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1位	売上の停滞・減少 16.6%	同業者間の競争の激化 22.8%	売上の停滞・減少 22.0%	同業者間の競争の激化 19.7%	同業者間の競争の激化 29.3%	同業者間の競争の激化 26.9%
2位	同業者間の競争の激化 15.9%	売上の停滞・減少 19.3%	同業者間の競争の激化 20.3%	売上の停滞・減少 16.8%	利幅の縮小 20.4%	利幅の縮小 22.2%
3位	利幅の縮小 10.8%	販売納入先値下げ要請 12.3%	大型店との競争の激化 11.9%	利幅の縮小 10.2%	売上の停滞・減少 15.6%	商品物件の不足 15.7%

### 姫路地域

#### 当面の重点経営施策

業種 順位	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1位	販路を広げる 29.3%	販路を広げる 31.7%	経費を削減する 40.5%	経費を削減する 28.6%	販路を広げる 27.5%	情報力を強化する 22.2%
2位	経費を削減する 22.6%	経費を削減する 14.3%	品揃えを改善する 売れ筋商品を取扱う 各16.7%	宣伝・広告を強化する 19.3%	経費を削減する 23.5%	販路を広げる 宣伝・広告を強化する 各19.4%
3位	情報力を強化する 11.0%	情報力を強化する 12.7%	人材を確保する 宣伝・広告を強化する 各9.5%	販路を広げる 17.1%	情報力を強化する 14.4%	不動産の有効活用を図る 7.4%

### 神戸地域

#### 経営上の問題点

業種 順位	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1位	売上の停滞・減少 18.3%	売上の停滞・減少 25.8%	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化 各21.3%	同業者間の競争の激化 23.3%	売上の停滞・減少 26.4%	商品物件の不足 25.2%
2位	同業者間の競争の激化 17.1%	同業者間の競争の激化 為替レートの変動 各14.6%	利幅の縮小 12.0%	売上の停滞・減少 19.3%	利幅の縮小 18.7%	同業者間の競争の激化 20.2%
3位	販売納入先値下げ要請 13.4%	利幅の縮小 12.4%	取引先の減少 10.7%	人手不足 利幅の縮小 各8.7%	同業者間の競争の激化 17.6%	売上の停滞・減少 12.6%

### 神戸地域

#### 当面の重点経営施策

業種 順位	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1位	販路を広げる 29.1%	販路を広げる 経費を削減する 各28.1%	経費を削減する 30.8%	経費を削減する 21.6%	経費を削減する 31.9%	情報力を強化する 25.0%
2位	経費を削減する 17.4%	品揃えを充実する 12.4%	品揃えを改善する 宣伝・広告を強化する 各12.3%	販路を広げる 21.0%	販路を広げる 30.8%	経費を削減する 19.5%
3位	情報力を強化する 15.1%	情報力を強化する 7.9%	特になし 10.8%	人材を確保する 12.6%	情報力を強化する 技術力を高める 各11.0%	販路を広げる 18.8%

### 調査員のコメント

- 大手電機メーカーからの受注も小口であるが増えてきている。(姫路地区 製造業)
- 大手スーパー等の進出の影響で売上減少傾向が続いている。また、取扱い商品の陳腐化もあり抜本的な体質改善が急務となっている。(姫路地区 卸売業)
- 東日本大震災の影響により一時的に売上減少となったが、楽天・アマゾン等インターネット販売も順調に売上増加しており、今後の売上に期待できる。(姫路地区 小売業)
- 店舗のリニューアルやメニューの入れ替え等効率よく行い、顧客増に努めている。(姫路地区 サービス業)
- 業況不況の中、技術力が評判を呼び売上順調に推移している。(姫路地区 不動産業)
- コンサルタントを入れ経営の見直しを図っており、受注工事の見直し、経費削減、資産リストラによる債務圧縮などを行っている。(姫路地区 建設業)
- 昨年に比べ売上増加しているが、震災関連の需要増に起因したものであり、来年度の予想は厳しい状況である。(東播地区 製造業)
- 業況問題なく推移しているものの、船舶関係の受注が減少傾向にある。(西播地区 製造業)
- 販売納入先の値下げ要求が激しく慎重に対応する予定。(明石地区 製造業)
- 安定した家賃収入があり資金繰りはますます。しかし、建築請負は低調。(明石地区 建設業)
- 夏場に公共工事が減少したが、秋以降、受注が見込まれ、売上は現状維持の見込み。(北播地区 建設業)
- 製品のコスト削減は進んでいるが、景気の動向により売上が左右される。(神戸地区 製造業)
- 独自技術による強みをもっており、今後も業績堅調に推移していくものと思われる。(神戸地区 製造業)
- 為替レートの変動による損失にて業況やや苦しい面もあるが、新商品が好調。(神戸地区 卸売業)
- 病院・老健・特養のM&A及び各種提携を積極的に行っているが、利益が出るまでは数年かかる見込み。(神戸地区 サービス業)